

聞こえる人も
聞こえない人も



日本ろう者劇団

手話狂言

手話狂言は舞台に咲く笑いの華



公演のご案内



社会福祉法人トット基金 日本ろう者劇団

〒141-0033 東京都品川区西品川2-2-16 Tel 03-3779-0233 / Fax 03-3779-0206
jtd@japan.email.ne.jp <http://www.totto.or.jp>

手話狂言のご案内

社会福祉法人トット基金
理事長 黒柳徹子



私が、もう四十年以上前に、ニューヨークで演劇の勉強をしていた頃、アメリカろう者劇団（National Theatre of the Deaf: NTD）の舞台を見て、あまりの素晴らしさに感動し、「日本にもあんな劇団を作りたい!」と思ったのが始まりでした。

1979年に、私の考えを理解して下さった日本文化財団の招きで、NTDの来日公演が実現しました。私が、アメリカのろう者の俳優と一緒に舞台上に立ち、アメリカの手話を日本の手話にして、同時に音声英語を日本語にしてしゃべりながら演じる、というのが条件でした。日本中を回って公演し、その公演を見て感動した日本のろう者の演劇好きの人たちが、のちの日本ろう者劇団の皆さんです。二年後に、再びNTDの来日公演をする運びとなり、当時皇太子ご夫妻だった、現在のの上皇さまと上皇后さまが見にいらして下さいました。そして、終わったあと楽屋で、アメリカのろう者の俳優ひとりひとりに声をかけて下さって、その様子がNHKのニュースで紹介され、手話は日本中に広まりました。ちょうどその頃、私の著書『窓ぎわのトットちゃん』が出版されてベストセラーとなり、その印税をもとに、社会福祉法人トット基金を設立しました。

こうして、演劇に情熱を持つ日本のろう者の皆さんと私は、一緒にやっていくことにしたのです。

1983年に、イタリアのパレルモで「第九回世界ろう者会議・演劇祭典」が開かれるので、日本からも何か出さないかと全日本ろうあ連盟の方からお話があったとき、「狂言がいい!」と思いました。狂言は声を出すのがなにしろ大変なのですが、手話でやるなら声の訓練はしなくても大丈夫!と閃いたのです。狂言は大好きで、よく見ていました。親しかった三宅右近さんに相談したところ、右近さんは「面白いものができるかもしれない。」と引き受けて下さって、それから、厳しいお稽古が始まりました。お作法から始まり、面の付け方まで、右近さんはろう者だからといって特別扱いはなさいませんでした。ろう者の俳優たちも、古い手話の表現を調べたり、先輩に話を聞いたりして工夫を重ね、狂言にふさわしい手話の台詞を作りました。こうして、手話狂言が誕生したのです。

あれから手話狂言は、日本国内はもちろんのこと、アメリカ（1988・89・2002年）、スペイン（1990年）、ロシア、ドイツ、ハンガリー（1988・98年）、ギリシャ（2004年）、フランス、イギリス（2013年）、そしてイタリア、フランス（2015年）と、世界中で公演し、多くの方々に喜ばれています。1987年には「新しいジャンルの演劇を作った」として文化庁芸術祭賞もいただきました。また2002年に内閣総理大臣表彰、2021年には能楽界の権威ある「催花賞」を受賞しました。

是非とも、若い人をはじめ多くの人々に手話狂言をご覧いただきたいと思います。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年7月フランス公演の様子



ろう者が手話と体の動きで表現し、動きに合わせて狂言師がせりふを発する「手話狂言」の公演が今月、仏パリなどで行われた。40年にわたって活動してきた「日本ろう者劇団」は初めて、手話の公用語「国際手話」での本格的な公演に挑戦。ろう者や聴者、国籍の違いを越えて、パリ五輪・パラリンピックの開幕を控える現地で日本文化の奥深さを伝えた。

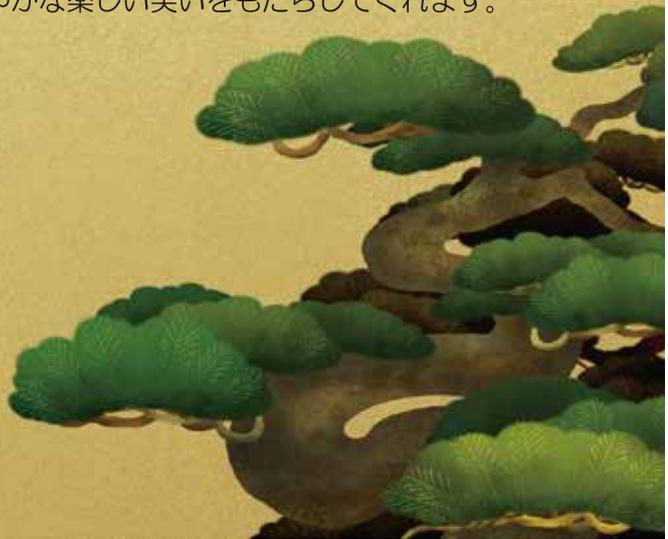
（2024年7月24日読売新聞）

狂言について

狂言は「笑い」の劇です。能とは対照的に中世庶民社会の日常や民間説話を素材として、普遍的な人間像を描き出しています。洗練された骨太の芸は、和やかな楽しい笑いをもたらしてくれます。

手話狂言について

狂言のセリフは室町時代から江戸時代までの古いことばです。昔から継承された狂言特有の動き、運びをそのままに、古典芸能にふさわしい手話狂言を作ることにつとめました。手話のセリフと声のタイミングや間の取り方にも工夫を重ね、古典芸能の強靭さと、手話の豊かな表現力をあわせもつ、手話狂言が誕生したのです。狂言の台詞を、手話と声の両方で、表情豊かに表現しますので、聞こえる人も聞こえない人も共に楽しむことができます。



プログラム 60分～90分

手話狂言や狂言についてのわかりやすい解説とともに、全員が参加できるワークショップを行い、より手話狂言を身近に感じられる構成となっております。



手話狂言のおはなし …… 20分

手話狂言について、また狂言についての解説をして、初心者でもわかりやすくご覧いただきます。



手話狂言（1～2演目） …… 20分～40分

100番以上のレパートリーから対象年齢によってふさわしい演目を上演します。（一演目約20分程度）



手話狂言ワークショップ …… 20分～30分

最後に手話狂言を実際に皆さんに体験してもらいます。手話で狂言のセリフを演じてみましょう。

～ 上演演目の一例 ～



附子（ぶす）

猛毒の附子を見張っているように主人から言いつけられた二人の家来。附子の入った桶の蓋を開けてみると、そこには砂糖が入っていました。一休さんのとんち話の元になった狂言です。



梟山伏（ふくろやまぶし）

前後不覚となった弟の病を直してもらおうと、兄は山伏を頼みます。弟には梟の精が憑いていると見立てた山伏は、早速取り祓おうと祈禱を始めますが…



墨塗（すみぬり）

国許へ帰る大名が女に別れを告げにやってきます。女は悲しさに涙を流しますが、実は水を目に塗った嘘泣き。機転を効かせた太郎冠者が水と墨を入れ替えると、女の顔は真っ黒に…



六地藏（ろくじそう）

六地藏を求めて都にやってきた田舎者。そこにすっぱ（小悪党）が近づいて仏師になりすまし、仏像を彫る約束を取り付けます。すっぱは仲間を集め、六地藏に変装させて、田舎者を騙そうとしますが…

手話狂言上演の様子



舞台設営：株式会社 影向舎

会場には本格的な能舞台を設置して、手話狂言をご覧いただきます。本来の能楽堂に近い形をとり、客席に近い目線で演じるため、演者と観客との一体感を味わえます。

手話狂言は日本ろう者劇団設立以来、40年以上の歴史を持ちます。ろう者の俳優と和泉流狂言師との共同作業による、「聞こえる人も聞こえない人も」同じように楽しめる手話狂言の鑑賞から、古典芸能の魅力と手話表現を、楽しみながら学ぶことができます。

主な出演



三宅 近成 (みやけ ちかなり)

能楽師狂言方 和泉流。祖父は人間国宝九世三宅藤九郎。父、重要無形文化財保持者・三宅右近に師事。3歳で初舞台。「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」といった秘曲、大曲を抜く。能楽堂の他、全国の会館での一般公演、小中高校生対象とした芸術鑑賞教室などに多数出演。狂言方としての活動の他にも、オペラ、現代劇にも出演する傍ら、落語や紙切りなどの演芸やミュージカルとのコラボレーション企画もプロデュースしている。手話狂言には自ら手話を用いて手話狂言の指導にあたる一方で、2014年の手話狂言公演「初春の会」の「髭櫓」でシテを勤めた。



日本ろう者劇団代表・江副 悟史 (えぞえ さとし)

2008年「日本ろう者劇団」入団以降、視覚演劇公演および手話狂言公演に多数出演。2017年より日本ろう者劇団代表に就任。東京オリンピック・パラリンピック関連イベントにも携わり、手話狂言を披露。その他経歴として、2009年NHK「こども手話ウィークリー」にて最年少キャスターとして抜擢。その後NHK「ハートネット」「ろうを生きる難聴を生きる」「手話で楽しむみんなのテレビ」など福祉番組に多数出演。映画やドラマなどの出演、手話指導・監修にも携わる。俳優・手話指導のほか、年間50本ほどの講演もこなし、全国各地で活動の場を広げている。

演出・監修 三宅 右近 (みやけ うこん)

能楽師狂言方 和泉流。昭和16年生。九世三宅藤九郎（人間国宝）の次男。父に師事。重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽会および能楽協会会員。4歳「梟山伏」で初舞台。20歳で「釣狐」、23歳で「花子」を抜く。初の試みである「日本ろう者劇団」による手話狂言の指導は40年以上にわたっている。